



果樹特報 No.5

令和2年 6/17号
J A中野市営農センター
J A中野市りんご・もも部会

今回の内容: 6月下旬定期 7月上旬定期 炭そ病特散

- ◆ 梅雨は炭そ病・輪紋病の重要防除期です。昨年はこの期間に感染が拡大し、果実被害が発生しました。引き続き、一定の散布間隔で進めてください。
- ◆ 高温・少雨により、ハダニ類の早期多発が心配されます。場合により、殺ダニ剤の前倒し散布を実施ください。

共通①: 【展着剤】ササラを通年使用中です。薬液が葉裏によく広がり、散布後の乾きも早くなる効果があり。

共通②: 【カルシウム補給】スイカル1,000倍を加用する。また、スイカルに代えてストピットⅡの500倍でもよい。

共通③: 【枝腐らん病対策】トップジンM水和剤1,000倍(前日、6回)を加用する。目安: 6月～7月中旬頃まで

共通④: 【輪紋病予防】ICボルドー412の33倍を6月最終週に特別散布する。ただし、早生種には散布しない。

6月下旬(定期) *目安: 前回から15日後

散布時期: 6月20～25日

散布薬剤: 水

100^{リットル}

展着剤(ササラ)

50ml

【代替】ハイテンパワー10,000倍

シトラノフロアブル 100ml (45日前、3回)

*極早生種 使用前規制注意!

スプラサイド水和剤

66g

(30日前、2回)

*劇物

散布量: 10a当り 600^{リットル}

対象病害虫: 炭そ病、輪紋病、斑点落葉病、褐斑病

シンクイムシ類、ハマキムシ類、カメムシ類、クワコナカイガラムシ、リンゴワタムシ

注意事項

① 【劇物】 スプラサイド水和剤は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。

② 【ハダニ類】 マイトコーネフロアブル1,000倍(前日、1回)を加用する。

【6月下旬定期】

散布日: 6月 日

散布量: ^{リットル}

6月第4週

7月上旬(定期) *目安: 前回から15日後

散布時期: 7月5～10日

散布薬剤: 水

100^{リットル}

展着剤(ササラ)

50ml

【代替】ハイテンパワー10,000倍

バイスロイドEW

50ml

(7日前、4回)

*劇物

ラビライト水和剤

200g

(30日前、1回)

*2020新登場 【枝腐らん予防効果あり】

散布量: 10a当り 600^{リットル}

対象病害虫: 腐らん病、輪紋病、炭そ病、斑点落葉病、褐斑病

シンクイムシ類、ハマキムシ類、キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ

注意事項

① 【劇物】 バイスロイドEWは劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。

② 【代替】 ラビライト水和剤に代えて、ジマンダイセン水和剤500倍(30日前、3回)でもよい。

【7月上旬定期】

散布日: 7月 日

散布量: ^{リットル}

7月第2週

炭そ病特別散布 *目安: 7月上旬定期から1週間後

散布時期: 7月12～19日

散布薬剤: 水

100^{リットル}

展着剤(ササラ)

50ml

【代替】ハイテンパワー10,000倍

オーソサイド水和剤 80 100g (前日、6回)

散布量: 10a当り 600^{リットル}

対象病害虫: 炭そ病、輪紋病、斑点落葉病、褐斑病

注意事項

【ハダニ類対策】 第9回散布のダニゲッターフロアブル2,000倍(前日、1回)を繰り上げて今回に加用する。その際、開花期の水稲やシャインマスカットに飛散しないようにする。

【7月 特散】

散布日: 7月 日

散布量: ^{リットル}

7月第3週

【薬面散布資材使用例6-7月】 【殺ダニ剤の選択】は次項をお読みください。

6-7月の葉面散布資材使用例（定期散布混用可） *光合成促進に7月にオルガミンDAの加用をおすすめします！

*N-窒素、P-リン酸、K-カリ、Mg-苦土、Mn-マンガン、B-ホウ素

商品名	保証成分量	使用目的	使用時期	倍率(倍)	価格／規格	600 ^{リットル} 価格
～7月散布おすすめ～ オルガミンDA (葉の健全育成)	窒素全量 0.11% 水溶性苦土 4% 水溶性ほう素 0.7% 水溶性加里 0.11% 水溶性マンガ 0.25%	光合成促進 品質向上 等	結実後～ 収穫前	1,000	3,740 円／10 15,840 円／50 29,700／100	2,244 円 (10) 1,901 円 (50) 1,782 円 (100)
～6月散布おすすめ～ グリーンデイズ (微量要素補給)	水溶性苦土 16% 水溶性マンガ 9.0% 水溶性ほう素 2.5%	苦土等補給 葉の健全化 品質向上他	結実後～ 6月下旬	1,000	1,530 円／1 kg	918 円
ビックマグ	水溶性苦土 23%	苦土補給 葉の健全化	結実後～ 6月下旬	1,000	1,110 円／1 kg	666 円

りんご殺ダニ剤の選択について

○：効果ある △：効果やや劣る ×：効果ない

薬剤名	倍率	使用 基準	使用 回数	IRAC コード	種類に対する効果		ステージに対する効果		
					リンゴ ハダニ	ナミ ハダニ	卵	幼若虫	成虫
ピラニカ水和剤	2000	21 日前	1 回	21	○	×	○	○	○
カネマイトフロアブル	1000	7 日前	1 回	20	○	○	○	○	○
マイトコーネフロアブル	1000	前日	1 回	20	○	○	△	○	○
オマイト水和剤	750	3 日前	1 回	12	○	○	○	○	○
コロマイト乳剤	1000	前日	1 回	6	○	○	○	○	○
ダニゲッターフロアブル	2000	前日	1 回	23	○	○	○	○	△
スターマイトフロアブル	2000	前日	1 回	25	○	○	○	○	○
ダニサラバフロアブル	1000	前日	2 回	25	○	○	○	○	○
ダニコングフロアブル	2000	前日	1 回	25	○	○	○	○	○

① 殺ダニ剤ローテーションについて

- 7月下旬（7/20～25 頃）：ダニゲッターF2,000 倍（中期的抑制効果あり・残効 14 日程度）⇒梅雨明け早い場合は前倒しへ
- 8月上旬（8/5～10 頃）：コロマイト乳剤 1,000 倍（速効的・成虫に効果高い・残効短い）⇒散布ムラがないように
- 8月旬（8/20～25 頃）：オマイト水和剤 750 倍（成虫に効果あり・残効やや短い）⇒ダニ退治の締め

② ダニサラバ・スターマイト・ダニコングは同一薬剤系統である。抵抗性回避のため、いずれかを年 1 回のみ使用とする。

③ ダニゲッター（ダニサラバ）は成虫に対してやや遅効的效果を示す。散布 7 日後以降に効果が発現する。

	リンゴハダニ	ナミハダニ
越冬	リンゴ樹上の芽基部や皮のくぼみに産まれた卵で越冬	雌成虫が粗皮下や雑草等で越冬 越冬成虫はあざやかな朱色
春先	4月中旬から孵化を始め、開花直前には終了し、夏卵を産む	3月に入ると越冬場所から移動するが、りんご樹上では春先に多発することはない。
発生消長	6月中下旬から増加し、ピークは7月中旬～8月上旬で、その後ナミハダニが増加すると一時的に密度が低下する。	発生ピークは8月中下旬頃であるが、早い時期は7月下旬、遅い時期は10月になる場合があり変動は大きい。

果樹特報 No6 発行予定：7/17（金）

- 7 月下旬（7/20-25）* 梅雨明け後の定期
- 8 月上旬（8/5-10） * お盆前の定期
- 8 月中旬（8/12-16）* お盆の特散

【重要①】果樹特報 No1～5 は JA 中野市ホームページに公開中です。ホームページ内「営農情報」を選択し、8 桁の組合員コードを入力してください。簡単に閲覧できます。スマートフォンからもアクセス可能です。ご利用ください。

【重要②】週 1 回の果樹園芸メールでも随時特報配信しています。メール配信希望の場合は営農センター（23－3933）までお問合せください。